

# 「しんゆり・芸術のまち」に関する市民・学生の意識調査

## —2007 年度情報戦略総合演習(社会調査クラス)事例より—

Survey on Awareness of " Shinyuri - City of the Arts "  
- A Case from Joho Senryaku Sogo Enshu (Shakai Chosa Class) FY2007 -

ネットワーク情報学部 西山 洋平 吉田 享子 飯塚 佳代

School of Network and Information

Yohei NISHIYAMA, Kyoko YOSHIDA, Kayo IIZUKA

Keywords: community survey, industry-university-government collaboration

### 1. はじめに

現在、全国各地で独自色を打ち出した街づくりが行われている。川崎市新百合ヶ丘地域においても、2007 年度に川崎市が「しんゆり・芸術のまち」PR 委員会を設立して、新百合ヶ丘地域の芸術文化の魅力を広く市内外に発信するとともに、新たなネットワークの形成を目指した活動を行っている[1](PR 委員会は 2008 年 4 月より「しんゆり・街づくりフォーラム」という組織となり活動している)。本稿では、ネットワーク情報学部情報戦略総合演習(以降 IS 総合演習)の社会調査クラスがシステムクラスと連携を行って、川崎市「しんゆり・芸術のまち」(" Shinyuri - City of the Arts "[2]) の意識調査を行った活動とアンケート調査の結果について報告する。

### 2. 「しんゆり・芸術のまち」について

川崎市麻生区の新百合ヶ丘地域は 2007 年頃から昭和音楽大学・日本映画学校・川崎市アートセンターといった芸術関係の施設がオープンしたり、移転してきたりしている。同時に、麻生音楽祭や KAWASAKI しんゆり映画祭などの芸術文化活動も行われている。このような街の発展を「しんゆり・芸術のまち」として広くアピールするために、川崎市が中心となり、市民・教育機関・事業者と協力し「しんゆり・芸術のまち」PR 委員会(以降 PR 委員会)が設立された。PR 委員会は、近隣の大学との連携による活動を積極的に推進しており、専修大学ではいくつかの学部で連携した活動を行っている。IS 総合演習の社会調査クラスとシステムクラスは、2007 年度に 2 つのクラスで横連携を行って Web を使った実践的なアンケート調査を行うことになっており、その題材として「しんゆり・芸術のまち」の PR を取り上げることにした。「芸術のまち」としての認知度などの現状調

査を行い、分析を行うことで地域貢献ができるのではないかと考えた。また、新百合ヶ丘地域の発展に IT(情報技術)を使うことで貢献する場があるだろうと考え、その前提で調査のテーマを検討した。社会調査クラスでは紙・Web 両方のアンケート設計と調査実施・集計・分析を行い、システムクラスでは Web アンケートを行うためのシステム設計・開発・アンケート実施期間におけるシステム運用を行った。

### 3. 調査アンケートの目的

今回のアンケートは、以下のような点について調査することを目的として実施した。

- ・新百合ヶ丘は「しんゆり・芸術のまち」構想の下での街作りが進められているが、「しんゆり・芸術のまち」のイメージが実際にはどの程度浸透しているのか。
- ・新百合ヶ丘の“芸術”、特に“芸術施設”と言われると、回答者は何を思い浮かべるのか。そして現状をどう感じているのか。
- ・回答者は“芸術”全般に対してどう接しているのか。
- ・新百合ヶ丘には、川崎市アートセンターや日本映画学校、ワーナー・マイカル・シネマズといった映画に関する施設の割合が高い。回答者の中での“映画”の位置づけはどうなっているのか。
- ・回答者は、新百合ヶ丘に限らず街にどのようなことを望んでいるのか。

これら 5 つのポイントを押さえることで、回答者がどのようなことを望んでいるのかを把握することが出来ると考えた。

## 4. テーマ決定から実施まで - 組織間連携の観点から -

2007年度社会調査クラスとシステムクラスで実施した意識調査は、外部ではPR委員会と連携し、内部では同じIS総合演習のシステムクラスと共に活動を行った。これらの連携によって学んだことが非常に多いとクラスのメンバは実感できた。本章では学生の視点で、連携による活動がどのようなものであったかについて記述する。

### 4-1 調査テーマを決定するにあたって

まず、具体的な調査テーマを検討するに際し、PR委員会より新百合ヶ丘地域について説明を受けた。その説明によって、新百合ヶ丘地域がどのようにして街として発展してきたか、これからどのように発展していくのかに関してのPR委員会の認識について知ることができた。また、PR委員会が設立間もないこともあり、どのような芸術分野を中心にPRを進めていかなどについても、積極的に学生から提案して欲しいとの要望を受けた。このような説明を受けた上で、実施する調査については「しんゆり・芸術のまち」のイメージの浸透度などの現状を把握し、今後のPRの方策に役立つだけでなく、新百合ヶ丘地域の発展にも役立つものとなることを目的とすることにした。自分達の素朴な疑問についてのみ調査するのではなく、現実の課題に対応するために外部組織と連携して調査をして分析を行うことで、クラスのメンバは実践的な場であるという意識を持って活動できた。

### 4-2 アンケート作成における調整

アンケート作成にあたり、まず新百合ヶ丘地域についての調査を行った。その結果、複数の文化施設があること、様々な分野の文化的なイベントがとり行われていることなどが分かった。しかしながら、それらの分野のうち、どれを主力として「しんゆり・芸術のまち」を発展させていこうとしているのかが漠然としているように感じられた。そこで、街の人々にどのように新百合ヶ丘地域が認識されているのか、また訪れる人がどのような目的を持って新百合ヶ丘地域を訪れるのかを調べることにした。これからの「芸術のまち」としての発展を目指すにあたり、アンケート回答者が「芸術」と聞いてどのようなものを連想するかを調べることにした。また、新百合ヶ丘地域に映像・映画系の施設が多いことから、映画について回答者にどのような認識があるかという現状を調べることで、他の芸術活動のPRにも適用できる参考情報を得ることができると考えた。このような点を検討してアンケートを作成した。アンケート作成及び実施に関しては、PR委員会と数回にわたってPR委員会事務局のオフィスにて打合せを行った。また、電子メールでの打合せも頻繁に行った。

### 4-3 打合せ内容

PR委員会と打合せを実施することによって、アンケートに対する要望を確認し、活動を進めていく上での決定事項を確認することが出来た。その結果を受け、出された要望や変更項目等の修正を経て、最終的に使用する紙・Web両方のアンケート内容を作成した。実施した打合せの中で、アンケート設計に関する主要な打合せの具体的な内容について以降に記述する。

#### 第1回アンケート設計打合せ

- 実施日時：10月25日（木曜日）
- 場所：PR委員会事務局オフィス（新百合ヶ丘）
- 打合せ内容：

第1回打合せでは紙とWebのアンケート両方について話し合った。まず、作成していたアンケートの設問例を用いて、クラスで検討されたアンケートのイメージの説明を行い、その上で、詳細を決めていくための議論を行った。今回のアンケートの回答者は学内だけではないので、アンケートに回答してもらうためには、アンケートの存在をなるべく多くの人に知ってもらわなくてはならない。アンケートについてどのように知ってもらうかについて話し合った結果、Webアンケートは「しんゆり・芸術のまち」Webサイトからリンクを貼れることを確認し、また川崎市のメールマガジンにアンケートのページのURLを掲載することの可能性を話し合った。そしてアンケート実施のPRのため、新百合ヶ丘で12月に行われるイベント（イルミネーションイベント）とのコラボレーションの可能性があるとの情報を得た。また、アンケート回答者へのインセンティブとしての謝礼についても話し合った。特にWebアンケートについてはインセンティブの有無によって回答率差が出るだろうとの話が出て、PR委員会が回答者に対する謝礼を用意することとなった。具体的な謝礼品としては、どのような物が適しているのか検討し、学生から提案してもよいとの話を受けた。

次にWebアンケートの画面設計について話し合った。アンケートページに「しんゆり・芸術のまち」のロゴマークを使用することについては申請すれば使用可能との返事を得た。また、アンケートページに「しんゆり・芸術のまちPR委員会」、「専修大学ネットワーク情報学部」などの情報を入れることを確認した。個人情報の扱いについては、アンケートの謝礼希望者のみメールアドレスの情報を収集することを決めた。また、個人情報を得るにあたり、「このメールアドレスは、プレゼントをご希望の方については、プレゼントの送付に関するメール送信を目的として使用します」といった文言を明記することも決めた。同時に個人情報データの扱いについて検討し、アンケートの回答とメールアドレスは分離して管理することなどを取り決めた。また、Webアンケートで使うサーバーやOSのバージョンといったシステム環境の

説明を受け、それに合わせたシステム開発を行うこととなった。

アンケートの内容については「新百合ヶ丘にどうしたら人を集客できるか」、「『しんゆり・芸術のまち』としての認知度をどのようにして上げられるのか」という2つの課題の解決に役立つことを前提とした。質問内容は表面的なものだけにせず、分析データをこれらの課題解決につなげられるような質問にして欲しいとの要望が出された。また、PR委員会の要望をそのまま受け入れるのではなく、学生の視点で自分達が納得できる分析結果が欲しいとの要望も出た。

以上のような確認を行い、第1回打合せを終了した。この打合せ内容で出た検討事項を持ち帰り、演習クラスの中で検討を重ねた上でアンケートの設計を変更し、質問項目の編集・追加を行った。

#### 第2回アンケート設計打合せ

- 実施日時：11月26日（月曜日）
- 場所：PR委員会事務局オフィス（新百合ヶ丘）
- 打合せ内容：

第2回の打合せでは、紙・Webの両方のアンケートの質問内容案を提出して説明を行い、PR委員会より基本的な了承を得られた。しかしながら、この時点ではまだ細かい修正を必要とした。具体的には、次のような内容が課題として出てきた。

- ・アンケート内に「新百合ヶ丘」とのみ表記していたが、実際に「新百合ヶ丘」という地名がないことから、「新百合ヶ丘地域」や「新百合ヶ丘周辺地域」といった表記に統一すること。
- ・質問内容の順番を精査すること。
- ・アンケート目的に案内文を入れること。
- ・Webアンケートは「答えやすさ」と「答えて欲しさ」のバランスを考慮して、回答必須項目を再考すること。
- ・紙アンケートとWebアンケートの回答者の重複を避けるための工夫をすること。

また、アンケートのプロフィール項目は川崎市が行っている別のアンケートを参考とすることにした。これは今回得たデータを、川崎市が行った他のアンケートと比較しやすいようにするためである。

Webアンケートについては、mixiなどのインターネットサービスへの書き込みをすることでサンプル数を確保する方法も議論されたが、リスクが大きいことから今回は実施しないこととなった。

紙アンケートについては、アンケートを取った場所によって回答内容に差が出るのが考えられたため、集計時点で場所ごとに集計することとした。また、PR委員会が用意するアンケート回答者に対する謝礼の内容も決定した。紙アンケートには「しんゆり・芸術のまち」特製クリアファイル及びステッカー各200セット、Webアンケートにはアミューズメントパークパスポート券ペア

招待券3組、商品券500円分10組が用意されることとなった。Webアンケートについては、アンケート回答者の中から謝礼希望者にメールアドレスを入力してもらい、抽選後発送することとした。また、紙アンケートの謝礼品であるクリアファイルにはPR委員会ホームページの広告も入れることとした。少しでも「しんゆり・芸術のまち」の認知度を高めると共に、Webアンケート回答者を増やすことを目的とした。

次に、新百合ヶ丘地域で行われている他の活動との連携を探った。その結果、イルミネーションイベント（2007年12月8日～2008年1月14日）と連動して行われているイベントに集まった人達へのアンケートは可能であるとのことであった。

また、本学部の2008プロジェクトについて、「しんゆり・芸術のまち」に関係したプロジェクトを企画する意思をPR委員会に報告した。そこでは、今回のアンケートでの結果を踏まえた上で新たな企画やシステムの提案を行うことと、今回のIS総合演習のクラスは、一旦解散後各自の意思でプロジェクトに参加することを伝えた。

以上のような課題について検討し、再考作業を重ねてアンケートを完成させた。完成させたアンケートをPR委員会に提出して、最終的なアンケートの内容の承諾を得た上で、アンケートを実施した。

#### 4-4 システムクラスとの連携

前述のように、2007年度IS総合演習は、社会調査クラスとシステムクラスが協力して活動してきた。社会調査クラスが設計したアンケートに基づいて、システムクラスがWebアンケートシステムを開発した。社会調査クラスではWebアンケートの設問を、紙アンケートをベースに抽出した。その上で、Webアンケート用に編集した。質問項目の決定については、システムクラスとWeb上の画面スペースの制約から質問数を絞り込むための対応策や、回答必須項目を決めるためなどで打合せを重ねた。外部組織先であるPR委員会は、社会調査クラスから見ると、いわばクライアントのような位置づけにあったと言える。PR委員会の目的を理解した上で、学生から積極的な提案をしながらも、PR委員会の要望に沿っているのかを確認しながら活動を進めていった。そのことにより、授業の枠内でありながら、外部の組織との関わり方を学ぶことが出来た。そして、社会調査クラスとシステムクラスの関係については、同じ企業の異なる部署、もしくは連携して一つのクライアントの要望に応える企業のような位置づけであった。Webアンケートを実施する工程において社会調査クラスが主に上流工程（アンケートの設問や、設問の回答内容による次の設問の表示などの概要設計）を、システムクラスが下流工程（詳細設計から開発・テスト）を担当することで、それぞれの工程間の連携を学ぶことができた。

#### 4-5 アンケートの構成

紙アンケートについては、大きく分けて次のような項目を設定した。

- ・ 新百合ヶ丘に対する認識  
使用する交通手段、新百合ヶ丘地域を訪れる目的・頻度、「芸術のまち」としての認知度、新百合ヶ丘地域のイメージ、新百合ヶ丘地域に「あったらいいな」と思われるもの等
- ・ 新百合ヶ丘の文化施設に関する認識  
文化施設の認知度、文化施設の情報源、文化施設の満足度、芸術イベントの情報の必要性、芸術イベントに参加しない理由等
- ・ 芸術全般に関する認識  
興味のある芸術、芸術施設の利用状況（新百合ヶ丘地域以外を含む）、利用しない理由等
- ・ 映画について認識  
映画館の利用頻度、利用する映画館、映画館に誰と行くのかについて、映画をみた後の行動、映画をみる時に重視するもの等
- ・ プロファイル項目等  
年齢、性別、居住形態・家族構成、職業、普段よく使う情報源、街に出かける時のポイント、街を訪れる時に事前に調べられる情報として「あったらいいな」と思われるもの等

Web アンケートでは質問項目の掲載スペースが限られるため、紙アンケートでの質問項目数 26 に対して、Web アンケートでは 11 項目とした。具体的には、質問の絞り込み以外に、似たような質問の統合や、回答の中に別の質問したい内容の回答を混ぜることで一つの質問にするといった工夫を行った。また、紙アンケートと違い、回答者が時間があるときに回答することが想像されるため、自由記述項目を設置し長文での回答が可能ないように最大文字数を設定した。紙と Web のそれぞれの特徴を生かすよう心がけて、Web アンケートのための設問作りを行った(図 1)。

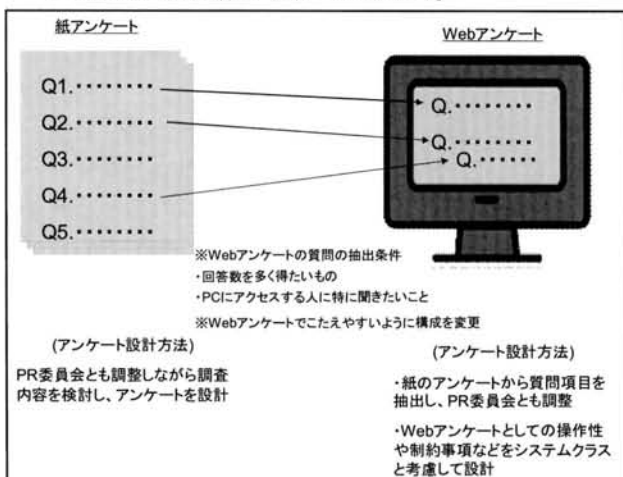


図 1 Web アンケートの質問項目の抽出方法

#### 4-6 アンケート実施概要

アンケートは次のように実施した。

##### 調査方法

アンケート調査は紙アンケートによる記入方式と、Web アンケートによって行われた。紙アンケートは小田急線新百合ヶ丘駅前・麻生区役所・専修大学内で行った(図 2)。Web アンケートについては、「しんゆり・芸術のまち」PR 委員会のホームページからたどれるようにし、1 ヶ月の期間を設定してアンケートを実施した。

##### 調査時期

紙アンケート： 2007 年 12 月  
Web アンケート： 2008 年 2 月

##### 有効回答数

紙アンケート： 160  
Web アンケート： 122  
合計： 282

##### 調査票

紙アンケート： A4 版 3 枚  
Web アンケート： 3 画面分



図 2 アンケート実施風景

### 5. 集計と分析

紙・Web 共にアンケート終了後、集計・分析を行って報告書を作成した。報告書は PR 委員会に提出・報告した。報告書は PR 委員会より一定の評価を得ることが出来た。ここでは、その一部を紹介する。

まず、新百合ヶ丘地域の現状を知るために、訪れる手段(単数回答)と目的(複数回答)を調べた。その結果、新百合ヶ丘地域を訪れる手段としては電車が多く(表 1)、目的は買い物と映画や食事が多いという結果であった。「文化施設の利用」や「コンサートなどの芸術鑑賞」といった回答の割合は買い物や映画と比べると低い(図 3)ことも伺えた。文化施設を利用したり、コンサートなどに出かけたりしている人のデータをみてみると、同時に買い物や食事をしているケースも多いので、買い物や食事と比べると、これらの回答が低いのはうなずける。

表1 新百合ヶ丘地域を訪れる手段

Q、利用する交通手段は何ですか？	回答数	比率
1 電車	110	68.8%
2 バス	18	11.3%
3 自動車	9	5.6%
4 バイク	8	5.0%
5 自転車	0	0.0%
6 徒歩	12	7.5%
7 その他	0	0.0%
8 無回答	3	1.9%
合計	160	100.0%

Q、新百合ヶ丘を訪れる主な理由は何ですか？  
(複数回答あり)

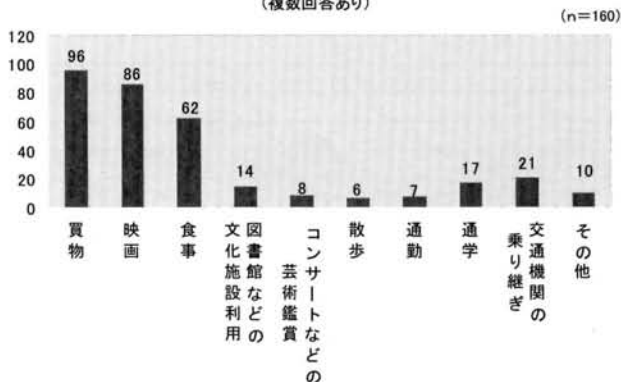


図3 新百合ヶ丘地域を訪れる理由

新百合ヶ丘地域が「芸術のまち」としてPRしていることを知っているかどうか調査した結果についてみてみた。その結果、新百合ヶ丘地域が「芸術のまち」としてPRされていることを知っている人は36%であり(表2)、PR委員会から見ても低いととらえられた数値であった。次に、PR委員会も関わっていた実際の芸術活動のイベントの一つである、「しんゆり映画祭」についての結果をみてみた。図4のように「しんゆり映画祭」の認知度については、34%であり、PRしていることの認知度と似たような数値を得た。

表2 「芸術のまち」としてPR認知度

Q、新百合ヶ丘エリアを「芸術のまち」としてPRしていることを知っていましたか？	回答数	比率
1 はい	58	36.3%
2 いいえ	97	60.6%
3 無回答	5	3.1%
合計	160	100.0%

しかしながら、回答内に専修大学内で調査したサンプルも含まれることから、駅前及び区役所での回答のみに絞って集計を行ったところ、知っている人の割合は56%となった(図5)。

また、これらの認知度の違いは、地域的なものによるものばかりではなく、年齢層によるものではないのだろうかという仮説を立て、映画祭にいったことがある人の

年齢層分布を調べたところ、20歳代の若者の割合は少なかつた(図6)。このことから認知度の差は年齢にも関係していると考えられる。

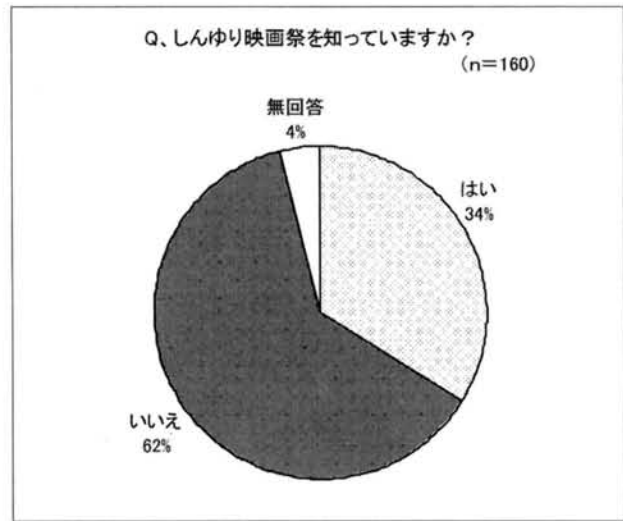


図4 しんゆり映画祭を知っている否か

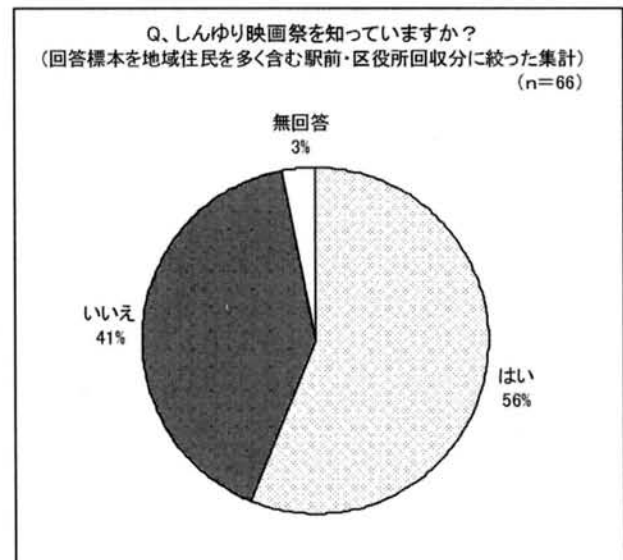


図5 地域住民がしんゆり映画祭を知っている否か

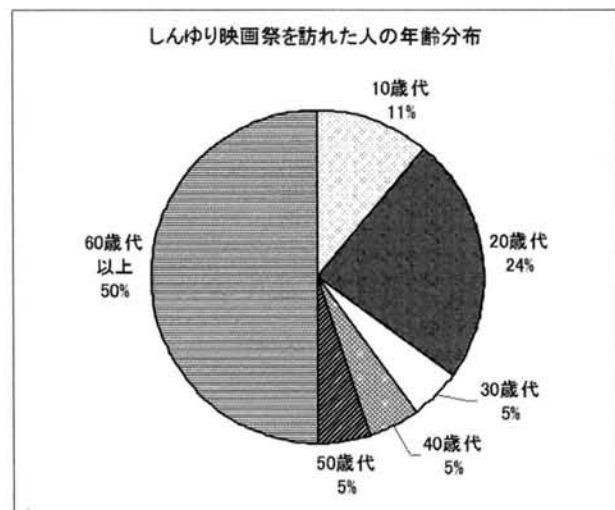


図6 しんゆり映画祭に訪れた人の年齢分布

「しんゆり映画祭」を知っている人に実際に足を運んだかどうかについても尋ねてみた。しんゆり映画祭は複数の場所で、時期をずらして開催しているが、知っているも実際に訪れる人はその半数にも満たないという結果であった(図7)。映画祭のホームページを演習時にメンバで見てみたところ、「若者向けでないのではないか」といった印象を受けた。「しんゆり」映画祭の認知度については、若い世代が低いこと、また、「知っている」人と「実際に行ってみた」人の間にギャップがあるという結果から、若者に伝わるアピールが必要なのではないかと考えられる。

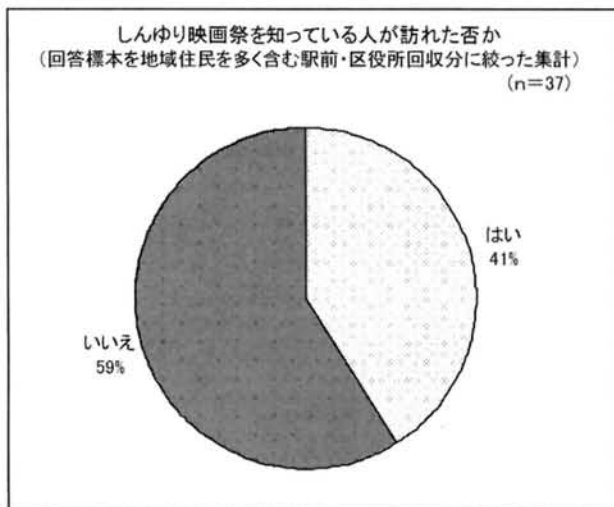


図7 地域住民がしんゆり映画祭を訪れたかどうかの有無

アンケート回答者自身の文化施設の利用状況についても尋ねてみた。この場合の施設とは新百合ヶ丘に限らず、日本国内の美術館・図書館等の芸術施設をさしている。その結果、施設の利用が月に1回以上という人が23.8%（「週に1回以上」と「月に2回以上」、「月に1回以上」の合計）と4人に1人もいないということが分かった(表3)。PR委員会も、この結果には「芸術のまち」を目指していることを考えると、多少物足りないという印象を持ったようであった。また、新百合ヶ丘を訪れる人にどのような目的で新百合ヶ丘を訪れるかを調べた結果は、文化施設の利用や芸術鑑賞など、芸術に関する割合は映画を除くと13.8%であり、映画の53.8%と比べると低い(表4)。

表3 回答者の文化施設利用状況

Q、日本国内の芸術施設をどの程度利用しますか？	回答数	比率
1 週に1回以上	3	1.9%
2 月に2回程度	10	6.3%
3 月に1回程度	25	15.6%
4 3ヶ月に1回程度	21	13.1%
5 半年に1回程度	23	14.4%
6 年に1回程度	11	6.9%
7 ほとんど利用しない	19	11.9%
8 全く利用しない	11	6.9%
9 無回答	37	23.1%
合計	160	100.0%

表4 新百合ヶ丘地域を訪れる理由・目的

Q、訪れる理由は何ですか？ (複数回答あり)	回答数	比率※
1 買物	96	60.0%
2 映画	86	53.8%
3 食事	62	38.8%
4 文化施設利用(図書館など)	14	8.8%
5 コンサートなどの芸術鑑賞	8	5.0%
6 散歩	6	3.8%
7 通勤	7	4.4%
8 通学	17	10.6%
9 交通機関の乗り継ぎ	21	13.1%
10 その他	10	6.3%

※複数回答の為、比率は回答者数にしろる回答率

これらの点からPR委員会の目指す「しんゆり・芸術のまち」としてのまちづくりを実現するには、新百合ヶ丘の「芸術のまち」としての認知度向上や人が集まるコンテンツの作成が必要であると考えられた。

「しんゆり映画祭」を訪れた人の割合については、紙アンケートとWebアンケートでは殆ど差が無かったものの(サンプル数が少ないが)、訪れた会場に差がみられた(図8、図9)。紙アンケートでは圧倒的にワーカー・マイカル・シネマズ新百合ヶ丘の会場が多く、Webアンケートでは麻生小学校校庭、新百合21ホールが多い結果となっている。また、Webアンケート回答者は学生が多く、紙アンケートは新百合ヶ丘の地元住民が多いため、その違いによって人気がある会場が違うということも考えられる。これらの結果から、映画祭の人気を高めるためには、年代や職業、普段から新百合ヶ丘を訪れるかどうかなどのさまざまな層の参加者を想定して「うける」イベントなどが効果的なのではなかと考えられた。また学生と地元住民との違いとして、それぞれの施設の認知度の違いが考えられる。そのため、それぞれのイベント会場の認知度を上げる工夫も必要となることが考えられた。

Q、新ゆり映画祭で訪れた場所はどこですか？  
(紙アンケート)

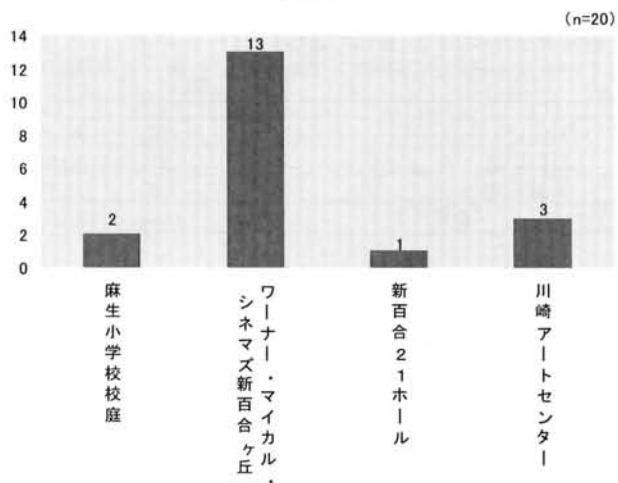


図8 紙アンケート回答者がしんゆり映画祭で訪れた場所

Q、新ゆり映画祭で訪れた場所はどこですか？  
(Webアンケート)

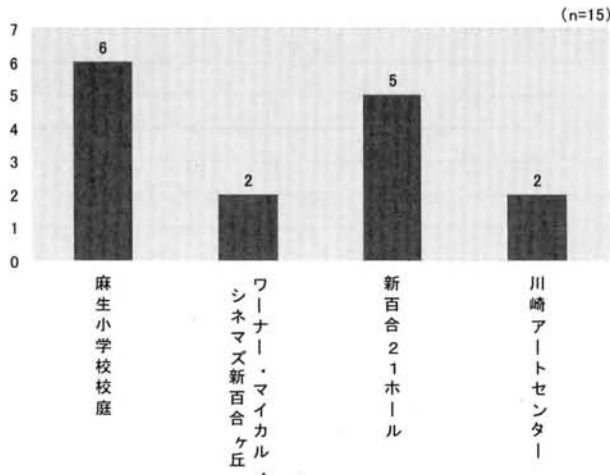


図9 Webアンケート回答者がしんゆり映画祭で訪れた場所

また、「どうしたら新百合ヶ丘地域に人が訪れるか」と考える中で、街を訪れるにあたって、どのような情報を欲しているかについて調べた。これは紙アンケートとWebアンケートで同じ質問のため、回答を合わせて集計している。その結果、「訪れる目的別おすすめコース」「目的地の詳細な地図」「目的地周辺のアクセス図」が上位として挙げた。これらの結果から考えると、事前に訪れる目的やシーンを想定した計画を立て、街自体の情報を調べた上で街を訪れたいという人が多いと考えられる。また、新百合ヶ丘地域の情報ポータルサイトがない現状もあったため、ポータルサイトがあったらいいかどうかについての質問もしてみた(表5)。

表5 地域情報のポータルサイト必要性についての意識

Q、新百合ヶ丘エリア全体の情報が集まったポータルサイトがあれば便利だと思いますか？	回答数	比率
1 はい	223	79.1%
2 いいえ	49	17.4%
3 無回答	10	3.5%
合計	282	100.0%

79.1%もの人が、ポータルサイトがあれば良いという回答であった。このことから、人が訪れるにあたり情報の集積したサイトの必要性が伺える。

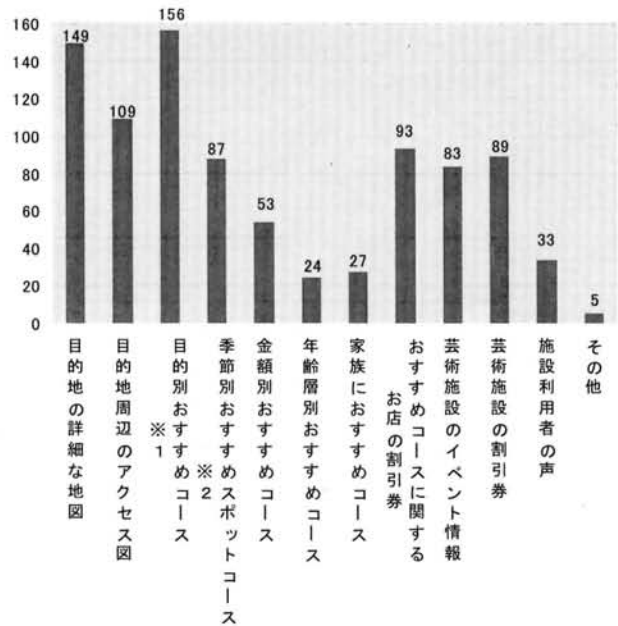
また、紙アンケートにおいて「新百合ヶ丘地域といえど何を思いつきますか？」と「これからの新百合ヶ丘地域にあったらいいなと思うもの」について自由記述回答を設定した(自由記述以外の回答については図10参照)。

「新百合ヶ丘といえど何を思いつきますか？」では総回答数98の内40回答が「映画」に関する記述であり、「これからの新百合ヶ丘地域にあったらいいなと思うもの」では総回答数68の内24回答が「商業施設」関係を希望するという意見がみられ、このように、「新百合ヶ丘」と

「映画」を結び付けている人、そして商業施設を求める人が自由記述の中では一番多かった。これは駅前にあるワーナー・マイカル・シネマズの影響もあると考えられるが、「しんゆり映画祭」等の映像関係の芸術活動成果も含まれているのではないかと考えられる。このような活動によって今後も新百合ヶ丘地域に「しんゆり・芸術のまち」のイメージが少しずつ浸透していくことと考えられる。新百合ヶ丘地域で「芸術のまち」としてのPR活動がなされている一方で、回答者が新百合ヶ丘に求めているものは、娯楽・商業施設関係の回答が大半を占めていた。この傾向は、Webアンケートによく現れている。

(Webアンケートの「これからの新百合ヶ丘地域にあったらいいなと思うもの」の自由記述回答は非常に多くの回答があった。詳細については附属資料参照。) これらのことから新百合ヶ丘地域には、「しんゆり・芸術のまち」のイメージとともに、新百合ヶ丘地域には住むための街としての機能や、利便性を求める声も根強いということが伺える。これは新百合ヶ丘地域が、1974年の小田急線多摩線開通に伴いできた比較的新しい街であることに関係があると考えられる。この2点である「芸術のまち」と「住むための街」の両立を、全体のまちづくり構想の中でとらえ、その中で「芸術のまち」としてのまちづくりとイメージの浸透が重要であると考えられる。PR委員会の話にもあったが、イメージの両立は必ずしも簡単ではなく、「芸術のまち」としての知名度が上がるほどその難しさは増大していくと思われる。そこで、街そのものが住みやすいものにしていくための方策やイメージづくりも重要であるように考えられる。

Q、事前に調べてあったらいいと思うインターネットの情報は何か？  
(複数回答可)



※1 デート、買い物、食事、街散策、食べ歩き、ひまつぶし等  
※2 紅葉、花見、クリスマスなどのイルミネーション等

図10 「あったらいいな」と思うインターネット上の情報

## 6. おわりに

2007年度IS総合演習の授業を通して、市や企業の方と打合せなどの場を持ち、学生としての提案や考えを伝える機会があった。そうした中で、考えを伝えることの難しさを、身を持って体感した。アンケート自体については、自分達が想定していない回答や興味深い結果が出るなど実際にやってみないとわからないことが多くあると感じられた。また、街頭でのアンケート調査はまず立ち止まってもらうことの難しさを痛感した。そして集計した数字から、「しんゆり・芸術のまち」としてのPRがこれからも必要であると感じた。実際に現地に足を運んで調査して、「芸術のまち」としての新百合ヶ丘地域と、「住むための街」としての新百合ヶ丘地域の両立の重要性を感じた。

本活動のまとめとして、IS総合演習終了時に川崎市に対して『「しんゆり・芸術のまち」をテーマにした情報のニーズに関するアンケート活動報告書』を提出した。こちらには、各アンケートの回答を集計分析したものをすべて記載してある。今回の調査の結果が今後の「しんゆり・芸術のまち」そして新百合ヶ丘地域の発展のために何らかの形で寄与できればと考える。同時に授業終了時に書いたリフレクションレポートや、今回の事例の内容と得られた成果については参考文献[3]にて報告している。また本稿では社会調査クラスの観点から報告したが、システムクラスの観点から報告したものは参考文献[4]に記載されている。

本活動を引き継いだ発展形として、2008年度に3年次履修科目である「プロジェクト」において吉田・飯塚プロジェクト2008を立ち上げた。吉田・飯塚プロジェクト2008では本稿でその一部を報告した意識調査の結果もしくは実施過程で得られた問題意識を基に取り組むことができ、地域貢献にも結びつく活動を行うことができた。

## 謝辞

今回のアンケート調査にあたり、川崎市「しんゆり・芸術のまち」PR委員会事務局の中島健志氏、松川哲司氏、石井公治氏には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。また、川崎市との連携における連絡窓口としてご協力頂いた本学キャリアデザインセンターのセンター長(当時)の池本正純先生、事務部の坂田芳郎氏、佐々木恭子氏に感謝いたします。そして社会調査クラスのメンバ全員にも感謝の意を表します。

## 参考文献

- [1] しんゆり芸術のまち  
<http://www.shinyuri-art.com/about/index.html>
- [2] "Shinyuri - City of the Arts", City of Kawasaki - An Administrative Perspective of Kawasaki (Year 2009 Edition)  
<http://www.city.kawasaki.jp/25/25koho/home/you ran/shiseiyouran2009/english/index.html>
- [3] 飯塚 佳代 吉田 享子 : 複数の演習を組み合わせた Project Based Learning の実践 ~情報戦略総合学習の複数のクラスによる横連携と川崎市の外部連携の事例より~  
 専修大学情報科学研究所 所報 No.71
- [4] 渡辺 優 柿崎 高志 飯塚 佳代 吉田 享子 : 「しんゆり・芸術のまち」に関する Web アンケートシステムの開発 - 2007年度情報戦略総合演習(システムクラス) 事例より -  
 専修ネットワーク&インフォメーション No.17, pp.31-38, March, 2010



## 附属資料

### 紙アンケートの自由記述回答

※回答を分類し特徴的なものを系統ごとに記す。また、複数回答も含む。

Q、新百合ヶ丘エリアといえば何を思いつきますか？

<映像関係>

映画 18 回答

映画館 22 回答

<商業施設関係>

OPA 9 回答

ビブレ 5 回答

その他商業施設関係回答 10 回答

<その他の複数回答>

綺麗（駅前が綺麗・街が綺麗） 5 回答

音楽のまち 2 回答

<印象的な回答>

「特徴がない」

「新しい街」

「交通渋滞」

「文化施設・芸術のまち」

「アートに力を入れようとしている」

「遊園の近くで便利な駅前施設がある駅」

「ハンパな町駅ビルはあるもののそのエリアから一步出ると見所がない」

Q、これからの新百合ヶ丘エリアに「あったらいいな」と思うものはありますか？

<商業施設関係> 24 回答

回答例：「アウトレット」「デパート」「コンビニ」「電気店」「ネットカフェ」等

<印象的な回答>

「音大生が住めるマンション」

「公園・バスロータリーが狭いと思う」

「もっと店を作ってほしい」

「子供が遊べる施設」

「コンサートの入場料をもっと安い値段にできないか」

「ゆっくりと憩える場所大きい時計など」

「子供の遊び場」

「大規模なショッピングモール」

「コンサートホール、大きい本屋、市外の人でも安く使える体育館」等

### Web アンケート自由記述回答

Q、これからの新百合ヶ丘エリアに「あったらいいな」と思うものはありますか？

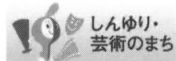
・岡本太郎美術館のような家族で散歩がてら楽しめる美術館がほしいです。芸術の街に美術館は絶対必要です。また、デパートがあればうれしいです。

- ・チケットショップ、リサイクル店
- ・待ち合わせに改札付近に人が多く、よくぶつかるので、待ち合わせ用フードコートのようなフリースペースがあると良いです。駅からバス停まで雨に濡れない方法。ミニシアター系映画館。
- ・申し訳ありません。これまで出かけたことがありません。近いうちに行ってみます。
- ・カップルで楽しめる温泉施設（岩盤浴、ゲルマニウム温浴、砂風呂など）
- ・大型電気店やホームセンターのような店があるととっても便利になると思います。
- ・食事をする場所。イタリアンや焼き鳥屋などは複数ありますが、偏っている気がします。いつも、新百合で食事となると「ここ！」というところがなく、悩んでしまいます。
- ・チェーン店では無い!!! 雑貨屋さんや、カフェなど他の街には無いこだわりのお店
- ・ヨドバシカメラ
- ・野外ステージ
- ・デパート、サイゼリア
- ・クラブ（お酒を飲みながら踊れるところ）
- ・子供を室内で自由に遊ばせられて、いつでも無料開放しているような場所。広い公園、夏は水遊びなどできると更にいいです。
- ・大きなショッピングセンター
- ・物を作る事が好きな人たちが自作のものを自由に展示販売できる「ボックスショップ」や、金券ショップが欲しいと思つたことがあります。ただ、もうこれ以上、新百合ヶ丘やその周辺の緑や森が消えないように、ということが一番強い願いです！（ほかに書くスペースがなかったので書かせて頂きますが）今年の映画祭は、1つも見たいと思う作品がなく、とても残念でした。それまで毎年楽しみに複数本拝見していたからなおさらです。エリアが元気になる事はうれしいですが、「今あるものを“よりよくしていく”」と言う視点で精選していく方が、長い目で見てベストな方向性だと思っています。よくするために私も頑張りたい。
- ・子供たちが遊べるような施設。児童館のスペシャル版のような感じが理想です。
- ・小さな子供を連れて入れる芸術施設や音楽などのイベントがあるとうれしいです。
- ・美術館。博物館。手頃な金額で借りられる、貸し教室。収容人数も少人数から、大人数まで対応できる、部屋の大きさがいろいろあること。部屋には、コンセントが各所にあり、貸し出しの大鏡などがあると、良いと思います。清潔な化粧室、簡単なキッチンが揃っていること。キッチンには、お湯呑み、急須、コーヒーカップ、お皿、湯沸しポットなど、お茶程度は飲める食器が最低であると便利です。
- ・カラオケ

- ・おいしいごはんやさん!
- ・美術館
- ・野外音楽堂・運動競技施設(観客席付き野球場等)・地下鉄
- ・喫茶店、オープンフーズコーナー
- ・手芸屋さん 材料がなかなかない
- ・小規模の商店街
- ・デパートなどの百貨店か、買い物に便利な大型ショッピングセンターなど、家族向けの商業施設もあると、いいと思います。
- ・高速道路のインターチェンジとあざみ野とを結ぶ地下鉄です。駅周辺の車の渋滞も激しいので、駅周辺のロータリーや道路の拡充がなされるとさらに有難いです。
- ・テーマパークがあたらしいと思います。芸術を表に出すのであれば、今までに無い地元の優秀技能をお持ちの職人さんの芸術芸を一挙に紹介するテーマパークはどうでしょう。家具職人、ケーキ職人(あめ細工など)、パン職人(パン細工)、和菓子職人(細工菓子)、コックさん(氷細工)など館内に飾り、イベントスペースでデモンストレーションなどを週代わりで行って……。いろんな芸術の可能性の紹介になりますし、地域密着型のアミューズメント?に成るので町の活性化につながると思います。商工会主導の企画ではなく、若い才能有る方々におねがいすると良い施設になると思います。
- ・デパート
- ・地下鉄、大型書店、デパ地下食材店、ラウンドワン
- ・せっかく映画館があるので、もう少し映画館の周りに映画を見に来る世代が楽しめるアミューズメント的なものがあつたほうがよいと思う。(ゲームセンター、カラオケなど)
- ・カラオケやボーリングなどの学生が遊べる施設など。
- ・ベンチ
- ・スポーツ用品店があると助かりますね。後、子供が遊べる施設などもあつたらいいな。
- ・牛井屋さん
- ・カラオケやアミューズメント的なもの。しかし、しんゆりは住宅街なので治安を乱さないようなものの方がよいと思います。
- ・少人数の合唱を披露する500人程度の質の良いコンサートホール。また、30人程度の人が集まって合唱を練習する場所も欲しいです。音楽のまちなどと言っているが、市民が集まって音楽の練習をしようと思っても、麻生市民館の視聴覚室のアップライトのピアノある部屋しか場所がない。多摩や中原、高津の市民館にはピアノのある部屋が3つあつたりグランドピアノがあつたりする。とても変である。何処が音楽のまち?芸術のまち??!そして、両方とも、市民が優先で低額で借りられるようにして欲しい。今は視聴覚室も大ホールも借りるのが困難。
- ・遅くまで営業している飲食店。夜、終わるのは早すぎる。
- ・キリンシティのような気軽に入れるが、キチンとした酒や食べ物を出すところ。今のところ、皆無なので。
- ・単なる住宅街ではなく、昭和音楽大学などもお引越して来られ文化水準の高い街だと思います。さらに小田急、高島屋などの百貨店や、都市部にあるようなホテルがあると良いと思います。
- ・無名アーティストのための廉価アパート、ピアノ付きリハーサル・スタジオ、絵画彫刻制作用スタジオ、各々をオープンにし、一般に公開する。
- ・特にない
- ・大きな書店、大きなCD屋等の大型専門店。
- ・親子で気軽に安く利用できる料理教室。(会員になつたりしなくても一回だけでも参加できる教室)イングリッシュカフェ。(ネイティブと気軽におしゃべりできる喫茶店など)
- ・なんといってもおいしいレストラン。見た目はいいけど、本当においしい店はあまりない。老舗が無いせいかも。
- ・芸術の町で売り出しているのだったらもう少し芸術が分かるようなものがあつたほうがよいと思う。(芸術博物館など)
- ・新百合は通学路のため行くことが多いのですが、これと行って行く理由はありません。住宅地なので、住む人の妨げになるようなものは作らないほうが良いとおもいます。
- ・ボーリング場・カラオケ(今現在は店舗数が少なすぎる)・卓球・ビリヤードなどのアミューズメント施設。映画見に新百合に行っても、映画終わってから遊ぶところがない。地元はそれでもいいかもしれないが、地元ではない人が来てても短時間しか居られない。
- ・コンサートホール
- ・まだ、一度も訪れた事がないのでなんとも言えません。行ってみたいと思わせるような魅力のある施設、イベントが常時あると足を運ぶ機会になるのではないかと思います。
- ・あまり行かないので特にない
- ・お茶を飲みながらゆっくりできるスペースのある、本屋さん。或いは、天気の良い日にお弁当を広げられる公園。
- ・あつたらいいと思うよりも、街の発展、広がりの方が早くてついていけないのが実際のところ。昔の様子を知っている人間として、5年前の街、10年前の街と、なつかしの新百合ヶ丘にも興味があります。そういう展示スペースがあると面白いと思います。
- ・新ゆりにもう少し学習塾があつてほしい
- ・リサイクルショップ(おもちゃ、衣類、本など)
- ・Jazz Live House
- ・①最近大型マンションが複数建設されている。そのため駅周辺が大変混雑している。ガーデンアリーナなどの北側の大型マンションから、津久井道の上を通る空中回廊のようなものがあると、駅周辺のアクセスがよくなり、混雑が解消されるであろう。②田園都市線と小田急線を結ぶ地下鉄。これができることにより町は益々発展する。現在は本数の少ないバスを利用するか、または南武線、横浜線を使い、迂回して行っている。小田急線の混雑を解消し、町を発展させるには不可欠である。
- ・貸し会議室や有料の音響施設(安くて夜遅くまで借りられる会議室)
- ・大きなスポーツ店と電気店
- ・おいしいコーヒー屋さん
- ・買い物をした時にひと休みできるくつろげる場所(百貨店に増えているようなソファなど)

- ・大学生の利用できるような服屋
- ・たくさんの服屋
- ・しゃれた or やや高級なレストラン (特に、北口からアートセンターにかけては、見当たらないので)
- ・大きい本屋さん (いまあるのは狭い・・・在庫が少ない。結局、都内にてちゃうから) まったりできるカフェ (カフェが少なくてさみしい★大学あるからできたら流行りそう!)
- ・大きい本屋、レジャー施設、百貨店
- ・渋滞を解消してほしい。安価でアクセスのよい駐車場。小さい子どもたちが活発に遊べるエリアや施設。市民に解放されたスポーツ施設。温泉スパ。
- ・社会人や学生が集まって交流ができるカフェバー、ギャラリーのような空間
- ・おいしい和食のレストラン、PC機器販売店
- ・工藝教室 陶芸や機織など
- ・田園都市線、横浜市営地下鉄と接続、直結する鉄道網が整備されることを切に願います。川崎副都心、芸術の街としての新百合が、現状では、川崎市の西のはずれに孤立の感が大きい。
- ・発展や歴史経緯を載せた看板、ラウンド1
- ・食事のできるお店がもっとあると良い。若い男性が買い物できるファッション性のあるお店。
- ・大規模図書館

(アンケートイメージ)



しんゆりの街と「芸術のまち」に関するアンケート

このたびは専修大学ネットワーク情報学部2年生の授業の一環として、「しんゆり・芸術のまち」PR委員会の方々と手を組み、新百合ヶ丘エリアの社会調査を行うことになりました。できるだけ多くの方にご意見をお聞かせいただき、お急ぎのところ大変申し訳ありませんが、アンケートにご協力をお願い致します。ご回答頂いた内容は、統計処理され分析以外の目的では使用しません。

項目1 新百合ヶ丘エリア全般についてお伺いします。

- 1 新百合ヶ丘エリアを訪れる際に利用する交通手段は何ですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 電車  (2) バス  (3) 自動車  (4) バイク  (5) 自転車  (6) 徒歩  (7) その他 ( )
- 2 新百合ヶ丘エリアに訪れる主な理由は何ですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 買い物  (2) 映画  (3) 食事  (4) 文化施設利用 (図書館など)  (5) コンサートなどの芸術鑑賞  (6) 散歩  (7) 運動  (8) 遊び  (9) 交通機関の乗り換え  (10) その他 ( )
- 3 新百合ヶ丘エリア以外にお住まいの方へお伺いします。  
 新百合ヶ丘エリアにはどのくらい頻度で訪れますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 週に3-6回程度  (2) 週に1回程度  (3) 月に1-2回程度  (4) 2-3ヶ月に1回程度  (5) 半年に1回程度  (6) 年に1回程度
- 4 新百合ヶ丘エリアを芸術のまちとしてPRしているのを知っていますか?  
 (1) はい  (2) いいえ
- 4-1 上記質問で「はい」と答えた方にお伺いします。どうやって知りましたか?  
 (1) 看板を見て  (2) WEBサイトを見て  (3) 広告を見て  (4) その他 ( )
- 5 しんゆり映画祭を知っていますか?  
 (1) はい  (2) いいえ
- 5-1 上記質問で「はい」と答えた方にお伺いします。今年の「しんゆり」もしくは行く予定ですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 8/25 麻生小学校校庭  (2) 10/5-7 ワーナー・マイカル・シネマ  (3) 11/3-4 新百合21ホール  (4) 12/15-12/16 川崎市アートセンター
- 6 新百合ヶ丘エリア全体の情報が集まったポータルサイトがあれば便利だと思いますか?  
 (1) はい  (2) いいえ
- 7 「新百合ヶ丘エリア」と言えばあなたは何を思い浮かべますか? ご自由にお答え下さい。
- 8 これからの新百合ヶ丘エリアにあつたらいいなと思うものはありますか? 自由にお答え下さい。

項目2 新百合ヶ丘エリアの文化施設についてお伺いします。

- 1 新百合ヶ丘エリアの文化施設についてお伺いします。ご存知のものをすべてお答え下さい。  
 (1) 麻生図書館  (2) 麻生市民館  (3) 新百合21ホール  (4) 川崎市立図書館  (5) 麻生小学校校庭  (6) 新百合21ホール  (7) 日本映画学校  (8) ライブハウス
- 1-1 上記の質問で知っている施設があった方にお伺いします。その施設が満足していますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) テレビ  (2) 新聞  (3) ラジオ  (4) 雑誌  (5) インターネット

- 2 これから文化施設を紹介していく際に、どのような情報媒体または情報源が最も良いと思いますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) テレビ  (2) 新聞  (3) ラジオ  (4) 雑誌  (5) インターネット  (6) クチコミ  (7) その他 ( )
- 3 現在の文化施設のあり方に満足していますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 満足している  (2) 満足していない  (3) 分からない
- 3-1 上記質問で「満足していない」と回答された方へお伺いします。それはなぜですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 施設数が足りないから  (2) 施設への満足度が低いから  (3) 施設内の質が悪いから  (4) 施設内の人が少ないから  (5) 施設のアピール度が足りないから  (6) その他 ( )
- 4 もし新百合ヶ丘エリアでコンサート等の文化活動の情報を、事前に知ることが出来たら参加してみたいですか?  
 (1) 参加してみたい  (2) 参加したくない
- 4-1 上記質問で「参加したくない」と答えた方へお伺いします。それはなぜですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 興味がないから  (2) 見たい内容のものがないから  (3) 家から遠いから  (4) 交通の便が悪いから  (5) 利用料が高いから  (6) 利用料金が安いから  (7) その他 ( )

項目3 芸術全般についてお伺いします。

- 1 どのような芸術に興味がありますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 映画 (洋画)  (2) 映画 (邦画)  (3) 音楽 (ポップス)  (4) 音楽 (ロック)  (5) 音楽 (クラシック)  (6) 音楽 (その他)  (7) 美術 (洋画)  (8) 美術 (日本画)  (9) 美術 (彫刻)  (10) 美術 (その他)  (11) 演劇  (12) オペラ  (13) バレエ  (14) 歌舞伎  (15) その他 ( )
- 2 日本国内のコンサートホールや美術館・図書館等の芸術施設をどの程度利用しますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 週に1回以上  (2) 月に2回程度  (3) 月に1回程度  (4) 3ヶ月に1回程度  (5) 半年に1回程度  (6) 年に1回程度  (7) ほとんど利用しない  (8) 全く利用しない
- 2-1 質問2で「ほとんど利用しない」「利用しない」に印を付けた方以外の方へお伺いします。  
 文化・芸術施設を利用する際に、重視する項目は何ですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 駅から近い  (2) 交通の便が良い  (3) 利用料金が安い  (4) 近くにおいしい食事処がある  (5) 託児所がある  (6) 設備の充実度  (7) 清潔感が良い  (8) 治安が良い  (9) 近くに商業施設がある  (10) 演目・展覧等の内容の品質  (11) その場所でのしかやらないから  (12) その他 ( )
- 2-2 質問2で「ほとんど利用しない」「利用しない」に印を付けた方へお伺いします。  
 利用しないのはなぜですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) どのような施設も行っていないから  (2) 興味がないから  (3) 見たい内容のものがないから  (4) 家から遠いから  (5) 交通の便が悪いから  (6) 託児所がないから  (7) 利用料が高いから  (8) 治安が悪いから  (9) その他 ( )

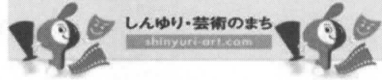
項目4 映画についてお伺いします。

- 1 映画館を利用する頻度はどれくらいですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 週に1回以上  (2) 月に2回程度  (3) 月に1回程度  (4) 3ヶ月に1回程度  (5) 半年に1回程度  (6) 年に1回程度  (7) ほとんど見に行かない  (8) 全く見に行かない
- 2 上記質問で「見に行かない」以外に印を付けた方へお伺いします。  
 2-1 普段どの映画館を利用しますか? またその理由を、該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 場所:  (1) 新百合ヶ丘エリア  (2) 新宿  (3) 下北沢  (4) 池袋  (5) 本厚木  (6) 多摩センター  (7) 南町田  (8) 川崎  (9) 横浜  (10) センター北  (11) センター南  (12) その他 ( )  
 理由:  (1) 住居から近いから  (2) きれいだから  (3) 観たいものが上映されているから  (4) その他 ( )

- 2-2 映画館にはよく行きますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 友達  (2) 恋人  (3) 家族  (4) 1人  (5) その他 ( )
- 2-3 映画を見終わった後、主に何をしていますか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 直帰  (2) 食事  (3) お茶  (4) 買い物  (5) その他 ( )
- 2-5 映画を見るときに重視するものは何ですか? 該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) スクリーンの大きさ  (2) 植込  (3) 広さ  (4) 清潔感  (5) 食べ物  (6) 駅からの距離  (7) 映画の種類  (8) 住居からの距離  (9) その他 ( )

項目5 回答者様へお伺いします。

- 1 あなたの年齢をお答えください。該当する項目に1-7印を付けて下さい。  
 (1) 10歳未満  (2) 10-19歳  (3) 20-29歳  (4) 30-39歳  (5) 40-49歳  (6) 50-59歳  (7) 60歳以上
- 2 あなたの性別をお答えください。該当する項目に1-2印を付けて下さい。  
 (1) 男性  (2) 女性
- 3 あなたの家族構成をお答えください。該当する項目に1-5印を付けて下さい。  
 (1) 1人暮らし  (2) 夫婦のみ  (3) 親子  (4) 親子と孫  (5) 祖世代世帯  (6) その他 ( )



Q9. 新百合ヶ丘エリアの情報が集まったWebサイトがあれば便利だと思いますか?

はい  いいえ

※Q10. 街を訪れる際、事前にインターネットで調べられる情報として「あつたらいいな」と思われるものは何ですか? 全てお答えください。(必須項目)

- 目的地の詳細な地図  目的地周辺のアクセス図
- 目的地別おすすめコース(デート、買い物、食事、街散策、食べ歩き、ひまつぶし等)
- 季節別おすすめスポットコース(紅葉、花見、クリスマスなどのイルミネーション等)
- 予算別おすすめコース  年齢層別おすすめコース
- 家族におすすめコース  おすすめコースに関するお店の割引券
- 芸術施設のイベント情報  芸術施設の割引券
- 施設利用者の声
- その他

Q11. 新百合ヶ丘エリアに「あつたらいいな」と思われるものはありますか? (自由記述256文字まで)

自由記述欄

を付けて下さい。  
 (4) 川崎市以外の神奈川県  (5) 東京都  (6) それ以外

ルバイト  (0) 自営業・経営者  (1) 学生  (2) 専業主婦  (3) 無職

1-5印を付けて下さい。  
 (1) 携帯電話  (2) 雑誌  (3) 広告  (4) テレビ  (5) その他

つまりお答えください。  
 (1) 3自分のコースに合っている場所が多い  (2) 場所が多い  (3) 駅から近い  (4) 託児所がある

として「あつたらいいな」と思われるものは何ですか?

き、ひまつぶし等)のイルミネーション等)

ございました。  
 大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報科社会調査チーム2007